

史跡があるところでの観光開発などで活発な議論 文化会館など市内6会場で市議会意見交換会開催



山城を生かした観光は市内の他地域、他市との連携が求められているのではないかと「史跡指定されたところの開発は難しいが、もてなしの施設をつくってほしい」「介護保険料の滞り問題は議会としてのチェックが甘すぎる」「(おれおれなど)詐欺行為にたいする注意喚起は議会でもことあるごととにやってほしい」

山城を生かした観光は市内の他地域、他市との連携が求められているのではないかと「史跡指定されたところの開発は難しいが、もてなしの施設をつくってほしい」「介護保険料の滞り問題は議会としてのチェックが甘すぎる」「(おれおれなど)詐欺行為にたいする注意喚起は議会でもことあるごととにやってほしい」

8月5日と9日、文化会館、柿崎地区公民館、板倉コミュニティプラザなど市内6会場で市議会意見交換会が開かれました。この意見交換会は議会基本条例に基づくもので、市民のみならずとの意見交換を通じて、市民のみならずの声を市政に反映させていくのが目的です。

今回の意見交換会では、私は文化会館と「はーとぴあ中郷」担当を割り当てられ、参加してきました。このうち、5日の文化会館での会議の様子をお知らせします。

この日、私は総務常任委員会を代表して答弁する役(写真右上)でした。市民の参加者は10人と少なかつたのですが、このうち8人が、「歩道が踏切に入った途端になくなってしまい、危険だ」(写真右下、旧春日山駅の近くの踏切)「春日

い。新潟市並み(88%)にするだけでも数億円などの意見、要望を出してくださいました。これらの中には、議会で気づいていなかったり、問題提起することがなかった課題もあり、とても参考になりました。参加者の多くの方が発言したくて参加されているのもすごいと思います。

「市民との意見交換会」は午後6時半から8時までの1時間半です。この会場での意見交換会でもったいないと思ったのは春日山城を中心とした観光開発についての議論です。マスタープラン、他地域との連携の在り方などで議論が深まりそうなどころまでいったのですが、そのまま続けていると、他の参加者が発言する時間が

なくなりそうだったので、打ち切りとなりました。前半45分はテーマを決めて意見交換する、後半45分は何でもけっこう、そんな工夫をするといいかの知れませんが、今度、意見交換会について改善の提案をしていきたいと思っています。

社会的な孤立、どう防ぐか学ぶ

4日と5日、新潟市で開催された自治体学校に参加してきました。会場は朱鷺メッセ、全国各地から自治体職員、議員、自治体研究者など約1000人が集まって賑やかでした。

私は4日、社会的孤立問題の権威である河合克義明治学院大学教授の話が聴けるというので「孤立を防ぐ地域コミュニティ」分科会に参加してきました。

「一人暮らしは離島、過疎地域、市中心部で多い」「まずは実態把握が重要だ。孤立死がどれ



くらいあるか。なんで孤立死が増えているのかの社会的な背景も探ること」「生活保護を受ける前の段階でキチッと支援していく仕組み作りが必要」、教授がテレビ出演した番組にもふれたの興味深い講演でした。勉強になりました。



【オトギリソウ】漢字で「弟切草」と書きます。切ない名前ですね。オトギリソウ科の多年草の植物で、黄色の花を咲かせます。花言葉は「秘密」です。写真は吉川区代石にて撮影しました。

春よ来い 第二六五回 ノノバの花

お盆が近づいてきました。梅雨も明けたので、先日、車に草刈り機を積み込み、尾神の蛸場（小字名、集落名）にあるわが家の墓の周辺の草刈りに行ってきました。この日は猛烈に暑い日でした。お盆まで一週間足らずという時でしたので、誰でも家の周りやお墓掃除などをお盆前にやっておこうと思っただけです。スカイトピア遊ランドのそばを通って尾神へ行き、蛸場方面へと下りはじめたら、N子さんが実家の近くで草刈りをしていました。すでにお父さんやお母さん、お兄さんが亡くなっているの、同じ区内に嫁いだ彼女が草刈りをしていました。自分が生まれ、育つた家を守ろうとしている彼女の姿を見て、何故かうれしくなり、「がんばってんね」と声をかけて通り過ぎました。

わが家から墓場まで車で約一五分です。蛸場の市道半入沢線から入って六〇分ほど、この日、私はセミたちの大合唱に迎えられました。ミンミンやアブラゼミが盛んに鳴いていました。墓場までの道は農道です。誰が植えたのか、道の片側にクルミ、キハダ、ケヤキ、コナラの木があります。これらの木は去年よりもひと回り大きくなって、木陰をつくっています。そこを歩くだけでも気持ち良くなりました。それだけではありません、子どもの頃、ホタルを採って遊んだハサ場近くの小川の流れ、それと釜平川の流れの音も聞こえてきて、これまた涼しさを感じさせてくれます。

草刈り機を車から降ろして、エンジンかけると、一発でかかりました。墓場は農道よりも少し高いところにあり、そこへ上がって見ると、すでに二〇日くらい前に一度草を刈った跡があります。親戚の誰かが刈ってくれたのでしょうか、おかげで草刈りは思っていたよりもはかどり、わずか三〇分ほどで終わりました。墓場にはいろいろな野草があり、花を咲かせるという事です。肉厚の葉をつけたキンソウ、船のイカリのような白い花を咲かせるトキワイカリソウがまぶさ目に入りました。ヤマユリは、緑色の実をつけていました。中には種子が入っています。

私よりも早く掃除に来た人が野の花を大切にしていることは、花の時期を終えたばかりのヤマユリだけがすっと立っている様子を見ただけでもわかります。言うまでもなく私も、野の花を意識しながら草刈りをしました。この時期、墓場やその周辺で咲いている野の花はヤマウドとオトギリソウなどほんの数種類です。子どもの頃、お盆に咲く花だとばかり思っていたホタルブクロもひとつだけですが、小じんまりした花をまだ咲かせていました。いずれも刈らずに残しました。

草刈りも後半になって、「井戸尻」の墓の裏側に行つてびっくりしました。私の大好きな夏の野の花、ツリガネニンジン（ノノバの正式名称）が薄紫色の小さな花を咲かせていたからです。この夏、ノノバの花を見たのは初めてでした。これはおそれ、四年前に母ちゃんと一緒に事故死した「井戸尻」の父ちゃんが何年も前に植えたものなのではないでしょうか。あの人懐こい父ちゃんも野の花が好きでしたから。

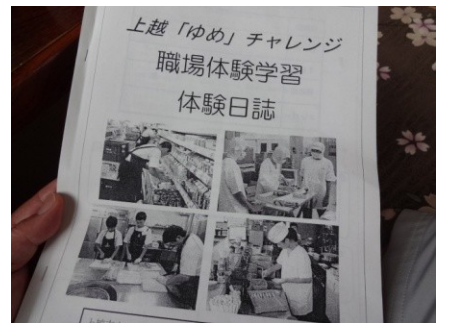
ノノバの花を見たことで、「井戸尻」の父ちゃんの、「おらが死んでも、酒、あげてもらいたいがど」という言葉を思い出しました。お盆の十三日に墓場に出かけるときには、忘れずにお酒を持って行きたいと思えます。「井戸尻」の父ちゃんや隣の墓に入っている父、そして祖父に楽しく飲んでもらうために……。

職場体験で中学生、生き生き

いま、市内各地で中学生の職場体験が行われています。私は7日、安塚区へ出かけ、中学生が職場体験で働く様子を見させてもらいました。おじゃましたのはラーメン屋さん

です。中学2年生の女子生徒、Aさんが、とてもいい感じで働いていました。注文した塩ラーメンを両手でしっかりと持ち、運んでくる姿は集中していたし、私からの質問にも落ち着いて丁寧に答えてくれました。お店の人によると、初日には、元小学校長のお客さんに「もっと大きい声を出すといいよ」とアドバイスされたとか。職場体験、最後の日にはどんなふうに成長したか

を見に行きたいものです。ラーメンさんは、職場体験日誌や終了証書の様式も見せてもらいました。日誌には、うれしかったり、つらかったりした場面や感想などを書く欄もありました。市教委で、いろいろと工夫していることもわかりました。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	7月31日(水)	8月7日(水)
上越南消防署	0.040	0.033
上越北消防署	0.040	0.050
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.046	0.037
頸南消防署	0.040	0.040
東頸消防署	0.047	0.047
高土分遣所	0.053	0.050
名立分遣所	0.050	0.047



上は越後よしかわやっつたれ祭り。右は柿崎時代夏祭り。いずれも3日、撮影。

夏祭り、今年も市内各地で賑やかに

